

第 1 期認知症施策推進計画について

1 計画策定の考え方

- ・国の基本計画をベースとしたうえで、地域の実情に即した内容を検討
- ・認知症になってからも、できること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で希望を持って自分らしく暮らすことができるという「新しい認知症観」に基づいた各施策の推進
- ・認知症の人及び家族等からの意見聴取（基本法第 12 条第 3 項）

2 計画策定に向けた取り組み

①認知症まちづくりミーティングの実施

認知症の人及び家族等からの意見聴く場として昨年度 2 回実施。

第 1 回認知症まちづくりミーティング	
令和 7 年 10 月 15 日 15:30～17:00	○認知症ご本人 3 名 ・認知症の人の家族・介護経験者 4 名 ○認知症地域支援推進員 2 名 ○行政職員 3 名
本人グループと家族グループに分かれ、各グループに認知症地域支援推進員、行政職員が入り、「日常生活での困難や課題」「生活の中での工夫」「必要だと思うサービスやサポート」等についてグループワークを実施。	
第 2 回認知症まちづくりミーティング	
令和 8 年 3 月 25 日 15:00～16:30	○認知症ご本人 4 名 ○認知症の人の家族・介護経験者 5 名 ○認知症地域支援推進員 2 名 ○行政職員 3 名
前回の振り返りを実施し意見交換を実施。またご本人の社会参加や活動の場について、どのような活動の場であれば参加しやすいか、市や地域にしてほしいことはあるか、等について意見を伺った。	

②オレンジひとことシートの作成・活用

→当事者の方々の日頃の何気ない一言（困りごと、希望など）を把握するため、認知症カフェスタッフや地域包括支援センター職員の関わりの中での何気ない一言を記録し集約

③認知症家族交流会におけるアンケート実施

→交流会に対するアンケートに加え、市の認知症に関する取組についてのアンケートを実施（回答者 57 名）

国の基本計画にて示されている方向性と、これらの取組で把握した認知症の人及びその家族の想い、高齢者日常生活実態調査で把握した課題等を踏まえ、内容を検討。